

産学連携 取組み実績

エイジェックグループは、大学など教育機関との「産学連携」により新たな価値の創造に取り組んでいます。

Project 1

東京大学 × (株)エイジェック

東京大学スポーツ先端科学連携研究機構とスポーツの包括的連携・共同研究を開始

東京大学スポーツ先端科学連携研究機構（UTSSI）（野崎大地機構長）と株式会社エイジェックはスポーツの発展を目的とする包括的連携協定、共同研究を開始いたします。

スポーツサイエンス分野における最先端の研究を行っている東京大学スポーツ先端科学連携研究機構（UTSSI）とアカデミー事業やスポーツチームの運営などを行う、株式会社エイジェックの提携により、国内最先端で最大規模のスポーツサイエンスにおける研究を推進し、スポーツ界に広く寄与してまいります。



Project 2

大阪大学微生物病研究所発(株)ビケンバイオミクス × (株)エイジェック

次世代バイオ産業に貢献する高度技能人材の育成支援

大阪大学微生物病研究所発のベンチャー企業である(株)ビケンバイオミクスとの共同出資により(株)BioLab Meister（バイオラボマイスター）を設立いたしました。

この法人は、次世代のバイオ産業に貢献できる高度研究系技術者の確保を主目的に、バイオラボマイスター（バイオ高度技能人材、バイオ DX 人材）の育成を行い、研究支援、産学連携、業務委託を通じて、研究機関や一般企業に対して優秀な人材を提供します。



Project 3

信州大学 × (株)アシスト&ソリューション（エイジェックグループ）

銅胆持・可視光酸化チタン光触媒「セラコート・ワン」の共同研究・開発

信州大学工学部とアシスト&ソリューションが共同開発した『セラコート・ワン』は、銀や銅を加える事で酸化分解力を高め、光の無い状況でも抗菌作用が働く製品です。

光に反応して強い抗菌作用、におい除去、有毒ガス分解、空気清浄化等の効果を発揮します。あらゆる素材に塗布することができ、一度の施工でおよそ3年間は効果が持続することなどから、救急車の車内や、エスカレーターの手すり、ホールの座席、電車の車両などあらゆるシチュエーションで施工が可能です。

新型コロナウイルス感染対策としても期待されており、メディアからも注目を集めています。



研究・開発成果 ▶ 善光寺（長野市・国宝）に「セラコート・ワン」が採用！

7年に一度行われる「善光寺前立本尊御開帳」。ふれることで縁を結べるとされる「回向柱（えこうばしら）」に、共同開発製品の抗菌剤『セラコート・ワン』が採用されました。

あらゆる素材に塗布可能で抗菌作用が持続する特性を持っていますが、木材は液剤が染み込みやすいため、より表面に長く留まるように、あらたに木材製品向けの『セラコート・ワン』を開発しました。

塗布・コーティングすることで、コロナ禍でも参拝者が安心して回向柱にふれることができます。



昭和女子大学 × (株)エイジェックスポーツマネジメント

女子アスリート栄養プロジェクト

昭和女子大学とエイジェックグループでは「スポーツ栄養学」の観点から、女子アスリートのパフォーマンス向上について共同研究を開始します。

エイジェック女子野球部の選手に対し、食健康科学部 健康デザイン学科の学生が、部員のパフォーマンス向上を目的に、以下の取組・研究を実施します。



①食改善

長期的観点：今までの食事や生活をみなおした日々の食事改善を実施

短期的観点：えびの仙太を活用した食事改善を実施

②検査

(血液検査／ヘモグロビン検査／基礎検査／食事調査)

定期的に血液検査を実施(健暉会)

③美容イベント

美肌・美白等美容に関連した検査や施策もイベント的に実施

東京家政学院大学 × (株)エイジェックファーム / (株)エイジェックスポーツマネジメント

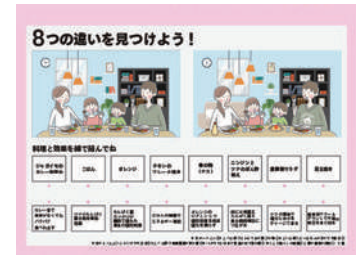
アスリート弁当開発プロジェクト

東京家政学院大学人間栄養学部調理学研究室の4年生5名が、8月20日～21日の2日間に行われたさくらカップ(小学の部)において、アスリート向け弁当と称し、運動時に適した昼食の献立を作成いたしました！

2日間の献立

<1日目>

- ・白飯
- ・チキンのフレーク焼き
- ・目玉焼き
- ・夏野菜サラダ
- ・ジャガイモのカレー粉炒め
- ・人参とツナのポン酢和え
- ・香の物
- ・オレンジ



<2日目>

- ・白飯
- ・豚の生姜焼き
- ・コーン入り卵焼き
- ・付け合わせ野菜(キャベツ)
- ・焼きカボチャ
- ・大豆と人参の甘辛煮
- ・レモン風味のプロッコリー
- ・オレンジ



また、2日目には学生が球場に出向き、参加した小学生及び保護者の方に対してお弁当の献説明と「夏バテ対策」の栄養講習を行いました。どの食材にも意味が込められおり、お弁当にはしおりを付けて配布いたしました。なお、9月に行われるさくらカップ(中学の部)でも、学生考案の献立弁当が作られます。

白鷗大学 × (株)栃木県民球団 (栃木ゴールデンドラゴンズ)

球団運営と地域共創で新しい価値の創造を目的とした共同研究

白鷗大学と栃木県民球団は地域共創をテーマに共同研究を開始します。

独立リーグ・栃木ゴールデンドラゴンズを運営する株式会社栃木県民球団 (栃木県小山市) は、白鷗大学 教育学部 (栃木県小山市) 齋藤正憲ゼミナールと「地域共創と人文知：まち・ひとづくりに関する新しい価値の創造」をテーマに共同研究を行います。2021年12月20日付で「地域共創センター (共同研究室)」を設置、地域共創に関する様々な共同プロジェクトを推進します。



九州産業大学 × (株)エイジェックススポーツマネジメント

アビスパ福岡でのグッズ販売促進の共同企画を開始

九州産業大学 経済学部 下田准教授とエイジェックグループは、アビスパ福岡でのグッズ販売促進の共同企画を進めて参ります。

グッズ販売促進のための売り場レイアウトの分析、改善、効果検証、販売促進に向けたECサイトのマーケティング分析等、下田准教授が担当する実践企画演習の履修生と共に課題解決に取り組めます。



青山学院大学 × (株)エイジェック

青山学院大学とSDGs についての共同研究を開始

青山学院大学総合プロジェクト研究所内「SDGs 人材開発パートナーシップ研究所 (所長 玉木欽也 (経営学部教授))」と、「ニューノーマル時代へ向けた教育機関・企業・人材の参加型事業育成」をテーマに掲げて、共同研究を開始します。

この共同研究は、産業と学問の連携による事業支援や、多彩な分野における人材キャリア支援、また地域資源・資産を活かした地域創生事業支援を目的とし、国際・産学官金連携・学生参加によるニューノーマル時代に向けた学校・企業・人材の参加型事業育成に取り組むものです。

SDGs 人材開発を研究する同研究所と、人材総合プロデュース企業として各産業の特徴に合わせたソリューションの提供実績と多領域に及ぶ地方創生モデルを持つエイジェックグループが共同研究、共同開発を行うことで、社会的課題解決のための多角的な研究取組・発信と、将来に向かってより持続性のある、教育を含めた新事業の開発・育成を推進していきます。具体的には以下の研究課題に取り組めます。

- ・産業と学問の連携、事業支援のあり方
- ・多様な業種における人材キャリア支援のあり方
- ・地域特性、地域資産を活かした地域創生事業支援のあり方



「間島記念館」画像提供: 青山学院大学

